

ふれあい

2018

4

No.373

牛久愛和総合病院 広報誌



「福岡堰 夜桜」

撮影：薬剤センター 鞆 伸一

「新年度のご挨拶」

常仁会グループ理事長

たねだ よしろう
種子田 吉郎



大雪、大寒波と例年に比べ厳しかった寒さも落ち着き春爛漫の季節を迎え、新年度がスタートするにあたり皆様にご挨拶申し上げます。

平成30年度の始まりと共に、今年も牛久愛和総合病院へ67名、グループ全体では141名の若さと希望に満ちた新入職員を迎えることができましたこと、そして共に働くことができることを心より嬉しく思っております。

昨年、約200年ぶりとなる天皇陛下の生前退位決定に伴い、来年の4月30日で平成という時代に幕が下ることが決まり、今年「平成最後の1年」を迎えることとなりました。この感慨深い1年は医療界でも環境が大きく変わる節目の年となります。

4月1日からは、診療報酬及び介護報酬の同時改定、第7次医療改革・第7期介護保険事業（支援）計画等がスタートいたしました。これは、全人口の2割弱にあたる約2200万人が75才以上の後期高齢者となる2025年以降を見据え、保健・医療・福祉が統合された「包括ケアシステム」の構築に向け大きな変革の時期に入ったことを意味しております。

当グループもこの変革期の中、「患者の皆様が最高の治療を受けられ、快適な環境で療養生活を送れる様にサポートする」という目的のため、各施設の役割を考え、方向性を明確にし、経営の舵取りをしてまいります。新入職員の方々もその大きな力になってくれることと期待しております。

4月1日からは、診療報酬及び介護報酬の同時改定、第7次医療改革・第7期介護保険事業（支援）計画等がスタートいたしました。これは、全人口の2割弱にあたる約2200万人が75才以上の後期高齢者となる2025年以降を見据え、保健・医療・福祉が統合された「包括ケアシステム」の構築に向け大きな変革の時期に入ったことを意味しております。

今年度も、弊会理念である「急性期医療」「予防医療」「高齢者医療」の3つの柱を通じ、「医療・介護サービス」をシームレスに提供できるという強みを活かしながら地域包括ケアシステム構築等に貢献し、地域の方々に「信頼され愛される病院」を目指し職員一同努めてまいりますので、本年度も変わらぬご支援の程宜しくお願い申し上げます。

当グループは現在、牛久市、新潟市、高知市、北九州市、宮崎市において15施設（病院7、介護老人保健施設5、有床診療所1、介護老人福祉施設（特養）2）、医療・介護トータルベッ



「い」が知りたい!

Q & A コーナー

Q 擦り傷の消毒はするべきな
のでしょか?

A 消毒すべきか否かというよ

りは、傷の状態によって加療
を考えるべきです。泥や小石
が付着している場合は、流水
でやさしく流しても取れませ
んの、ハンドソープなどの泡
でよく洗い、小石などは爪楊
枝で取り除いた方が良いで
す。また、乾かした方が良
く治るという考えは間違っ
ていますので、頭の切り替えを
お願いしたいです。べったりつ
いたカサブタの下で雑菌が繁
殖し、行き場のない雑菌は体
内へ入りこみ、赤く腫れあが
つて痛くなり熱も出る、いわ
ゆる蜂窩織炎という状態にな
り来院する患者さんは、「乾
かしたのに悪くなった」と言っ
てきます。「乾かしたから悪
くなった」のんです。イメー
ジとしては、砂漠（カサブタ）
に花（新しい皮膚）が咲くの
を待っている感じです。砂漠

に花の種（新しい皮膚の細胞）
を植えて花が咲くという人は
いないでしょう。

消毒が悪いかどうかではな
く、消毒して雑菌が死んだと
思っていることが間違っていま
す。菌そのものは見えないの
ですから、細菌が死んでいる
かは見えませんし、顕微鏡で
見ない限りわかりません。た
だこちら側がわかるのは、雑
菌の繁殖した状態と何もされ
ていない状態の傷です。雑菌
が繁殖すれば、赤く腫れて痛
みが出たり、膿みや汚い組織
で傷を覆ってきます。それら
を除去し、乾かさないうで治療
すれば感染もなく治ります。
（形成外科・平野 由美）



DMカフェ



糖尿病・代謝内科 宜保 英彦

多くの尊い命が犠牲となった
東日本大震災から、7年が過ぎ
ました。被災地の復興は道半ば
ですが、今後も自然災害の脅威
に対して、日頃から備えておく
ことが大切です。インスリンや
経口血糖降下薬を使用している
糖尿病患者さんにおいては、食
事が取れない避難生活を余儀な
くされる場合、薬の調整（減量
や中止）が必要になることがあ
ります。一方、1型糖尿病の方は、
食べないからといってインスリ
ンを打たないでいると、ケトア
シドーシスを起こしてしまいま
す。事前に主治医に確認してお
くのが理想的ですが、巡回医療
班に相談することも考慮して、
避難の際には、お薬手帳などご
自身の治療状況がわかるもの



5月糖尿病教室のお知らせ

5月9日(水)

糖尿病について (岩崎医師)

5月16日(水)

運動療法について

(理学療法士)

5月23日(水)

糖尿病と薬 (薬剤師)

◆時間・14時30分～

◆場所・C館1階からだ情報館

事前予約不要、参加費無料で
す。

興味のある方は、お誘いあわ
せの上、ぜひご参加ください。

入職者

3月16日付

■看護部

歯科衛生士 渡部 真由美
良く食べて、良く寝て、良く
働く。そして、目一杯遊ぶ！こ
れが私の元気の源です。

■医事情報部

事務 関 淑子
評判のいいラーメンやお蕎麦
を食べに行ったり、お酒を飲む
事が大好きです。

3月1日付

■春秋園

ケアサービス部

介護職員初任者研修

白石 さとみ

私の好きな事は、テレビの
クイズ番組と好きな曲に合わ
せて体を動かすことです。



春秋園だより

暖かい風が吹き始め、春の花が咲き始めている今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は、春秋園（入所）に行われたひな祭りについてご紹介いたします。

フロアスタッフによって作成された、お雛様のパネルを使用し、撮影会を行いました。

パネルを使用し、撮影会に臨んだ利用者様からは、「まるでお雛様になったみたい」と、はにかみながら話される方や、「こんな大きなものがあるんだ



ね」と驚かれる方もいらっしゃいました。皆様、カメラを向けると色々な表情をされ、利用者様個々の温かい人情を感じます。

また、フロアの一角に七段飾りのひな壇を飾りました。皆様、ひな祭りの思い出や今後どのようなひな祭りを行いたいのか、スタッフと話されていました。

各行事を通して、利用者様から受けたお言葉や、どのようにして楽しんでいただくかスタッフ一同趣向を凝らして、行事の企画を行っています。今後とも春秋園の行事にご期待ください。

（春秋園入所スタッフ一同）

職種紹介コーナー

薬剤師

薬剤センター 副科長 鈴木 さつき

みなさんは薬剤師という職業にどのようなイメージを持っていますか？

病院の窓口で薬を渡している人・・・というくらいで実際はなにをやっているのかよくわからないという方がほとんどだと思います。

薬剤師の仕事のなかで基本となるのが、調剤業務です。調剤業務は医師や歯科医師の「処方せん」に基づいて、患者さんが薬を適切に使用できるように調合し、十分に説明をしたうえで、お渡しする仕事です。

お薬の調剤という内服薬や外用薬を描えていて、注射薬は看護師と違って、注射薬も薬剤師が調剤をしています。

注射薬の調製を薬剤師がクリーンルームで行うことで、無菌的に注射剤の調製ができます。あわせて一緒に混ぜてはいけない注射剤の確認もで

きます。

また、入院時には患者さんが普段飲んでる薬の把握や、アレルギーや禁忌などの確認、入院後に服用開始される薬剤との相互作用などの確認を行っています。

入院中は、薬個々の特性と患者さんそれぞれの病状、検査データから、薬の体内での動きを予測して、副作用が出るのを防いだり、副作用の初期症状が出ていないかを見張っています。退院時には退院後の服薬についての説明を行います。

私たち病院薬剤師は、「医薬品のあるところ薬剤師あり」というスローガンのもと、患者さんに医薬品を有効かつ安全に使用していただくため、日々最新の知識と技術を学び研鑽しています。お薬のことわからないことがあったら気軽に声をかけてください。

第69回

生活習慣病教室

テーマ

知っていれば

怖くない胆石症
～胆石にご用心～

日時 平成30年5月16日(水)

14時30分から約1時間

講師

総合外科・消化器外科医長
藤田俊広 医師

会場 牛久愛和総合病院
B館2階 大ホール

参加費 無料

事前予約は不要です。

興味のある方は、お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。

◎お問い合わせ先

牛久愛和総合病院 総務課
☎029-873-3111(代)



《出来事ピックアップ》

平成29年度医療安全
講習会（後期）

3/7・2/20

2月20日、3月7日の2日間、「セーフティマネージメント概論」をテーマに、講師にはテルモ株式会社安全情報管理部の末木和夫氏を迎え、研修会を実施しました。

内容は、「医療紛争・医療訴訟の現状」、「医療事故の現状」、「対策の実際」など、医療安全に関する最近の動向と現状についてや、当院で行っている分析方法や確認方法にも触れられており、再認識させられる内容の濃い研修でありました。今後も学び得た知識や技術を実践にフィードバックし、全職員で「安全・安心な医療」が提供できるよう努めていきたいと思ひます。

卒園式

3/11

3月11日マリア・ナーサリ1の卒園式を行いました。卒園児8名は、にこにこと笑顔で登園して来しました。

式典が始まり、名前を呼ば

編集だより

今年の冬は大雪や寒波、インフルエンザの大流行と何かと厳しい日々が続きましたが、ようやく暖かくなりはじめ、今から春の訪れが楽しみです。

(A・S)

れると大きな声で「はい。」と返事をし、保育証書を立派に受け取りました。式典の後、日頃の保育の中のリズム、詩歌をうたいました。



病院理念

我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床（一般391床 医療療養型55床 地域包括ケア43床）

施設

敷地 59,449.60㎡ 駐車場 1151台



診療科目

【一般外来】

内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、血液内科、腎臓内科、神経内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、リウマチ科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、整形外科、脳神経外科、形成外科、救急科、外科、乳腺外科、消化器外科、耳鼻咽喉科、産婦人科、歯科口腔外科、甲状腺・内分泌外科

【専門外来】

内科（禁煙外来）
整形外科（股関節、脊椎、スポーツ、肩関節、膝関節）
小児科（小児循環器、小児心理、小児免疫）
皮膚科（レーザー外来）
外科（下肢静脈瘤外来）
ストーマ外来
そけいヘルニア専門外来
透析外来
内視鏡検査
検診検査（乳がん検診）

日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

救急 24時間

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

《関連施設》

総合健診センター Tel 029-873-4334
健康増進施設 スポーツリラックス Tel 029-874-8791
人工透析センター
地域リハ・ステーション
介護老人保健施設 春秋園 Tel 029-870-3100
特別養護老人ホーム グランヴィラ牛久 Tel 029-817-5111

